NAIS Journal Vol.13 発刊に際して

一般社団法人日本応用情報学会会長 弘昇 京都情報大学院大学 教授



人工知能 (AI), カームテック (CalmTech) などの IT 関連技術の急速な発展 がもたらすビジネス環境の変化下で、教育の現場は IT 人材の育成、企業は応 用情報経済活動に欠かせない IT 人材の確保などの対応に追われています。

インターネットが IoT(Internet of Things) の概念と Giga Net の 5G を取り 入れ、グロバールビジネス競争が一層激しくなった環境を迎えて、2004年以 来日本国内で専門雑誌の発行、ウェブサイトの運営などの多様な活動を通じて 情報技術の普及に貢献してきた NAIS は、より積極的な活動を展開するため、 2018年2月に日本応用情報学会 (Nippon Applied Informatics Society) として 一般社団法人化しました。一般社団法人化された NAIS は研究団体としての役 目だけではなく実践団体としての産学学会としてその役割を果たすため、日本 国内外の IT 関連学会及び実務系団体と緊密な連携を持ちながら実学志向的な 人材育成を始めとして、AI, IoT など関連ビジネス技術の開発などの活動を行っ てきました。また、情報システムを取り巻く実学志向的なビジネス環境におい て役に立つ有用な情報を研究者、技術者などに発信すると同時に、実学志向的 な産学専門家が研究開発し実装した成果物を関係する多くの人々に示す場を提 供するため、NAIS Journal を産業界にもより幅広くオープン化しました。特 に、NAIS Journal はこのような趣旨に沿って IT の様々な分野で活躍してい る産学研究者たちの研究成果を集めて発刊してきました。

NAIS は産学学会としてこれからも各分野に関わる応用情報に関する多様な 活動の内容を多くの関係者にJournalと共にウェブサイトを通じて発信し共有 していきます。また、様々な実学志向的応用情報課題に対応可能な研究・実践 活動について関連情報を発信し続けて積極的に関係者の皆様と共有していきた いと考えています。

今後も NAIS は IT 及び関連技術によって生み出される応用情報により急速 に変わり続ける厳しいビジネス環境において企業が競争力を身に付け成長でき るように企業関連応用情報システムの研究、開発及び実践に貢献していきたい と考えております。